

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【公表番号】特表 2018-521695 (P2018-521695A)
 【公表日】平成 30 年 8 月 9 日 (2018.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-030
 【出願番号】特願 2017-552452 (P2017-552452)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 1/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 2 日 (2019.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの乳房から母乳を抽出するための母乳抽出システムであって、

前記システムの動作中に前記システムにおいて少なくとも 1 つの測定値を生成し、かつ前記システムにおける前記少なくとも 1 つの測定値から、前記システムの動作中に前記システムにおける真空レベルを決定するように構成された圧力測定構成要素であって、圧力スイッチ、2 個の設定圧力スイッチ、相対圧力センサ、絶対圧力センサ、及び少なくとも 2 個の圧力センサの少なくとも 1 つを備える圧力測定構成要素と、

メモリと、

前記圧力測定構成要素及び前記メモリとインターフェースで接続された比較回路であって、実質的に連続的に、前記システムの動作中に前記システムにおける真空レベルと前記システムにおける予想真空レベルとを比較して比較結果を得、前記比較結果が少なくとも閾値を満たすときに、母乳又は空気が前記システムに流入する又は前記システムから流出することを示す漏れが前記システムにあると決定し、そして漏れの大きさを推定するように構成された比較回路と、

該システムにおける漏れの存在を前記ユーザに選択的に示すように構成された少なくとも 1 個のフィードバック構成要素とを備える母乳抽出システム。

【請求項 2】

前記圧力測定構成要素が前記システムの動作中に前記システムにおける圧力レベルを得るようにさらに構成され、

前記比較回路は、

前記圧力レベルと予想圧力レベルとを比較し、

前記比較に基づいて、前記システム内の母乳の流量を推定する

ようにさらに構成される、請求項 1 に記載の母乳抽出システム。

【請求項 3】

前記比較結果が少なくとも閾値を満たすときに、前記比較回路は、

前記比較結果に基づいて、システム内の漏れに対処するためにとる少なくとも 1 つの動作を決定し、

前記少なくとも 1 つの動作を実行する

ようにさらに構成される、請求項 1 に記載の母乳抽出システム。

【請求項 4】

前記圧力測定構成要素は、

前記システムの動作中の第 1 の時点で第 1 圧力レベルを取得し、

前記システムの動作中の第 2 の時点で第 2 圧力レベルを取得し、

前記第 1 圧力レベルから前記第 2 圧力レベルまで前記システムにおける真空レベルを決定する

ようにさらに構成される、請求項 1 に記載の母乳抽出システム。

【請求項 5】

前記圧力測定構成要素は、前記システムの動作中に前記システムにおける圧力レベルを取得するようにさらに構成され、

前記比較回路は、前記圧力レベルと予想圧力レベルとを比較することによって母乳流搾乳容積推定値を算出するようにさらに構成され、

前記システムは、前記母乳流搾乳容積推定値に基づいて母乳流量、母乳搾乳容積及び射乳反射（MER）の少なくとも 1 つを示す母乳出力データを生成するように構成された出力モジュールをさらに備える、請求項 1 に記載の母乳抽出システム。

【請求項 6】

電子装置からユーザ構成設定のセットを受信するように構成されたトランシーバと、

少なくとも前記トランシーバとインターフェースで接続し、前記ユーザ構成設定のセットから前記システムの動作設定のセットを決定し、前記動作設定の前記セットに従って前記システムを構成するように構成されたハードウェアコントローラとをさらに備える、請求項 1 に記載の母乳抽出システム。

【請求項 7】

前記トランシーバは、前記電子装置から前記電子装置のセンサのセットに関連するセンサデータを受信するようにさらに構成され、

前記ハードウェアコントローラは、前記センサデータから前記システムの動作設定のセットをさらに決定する、

請求項 6 に記載の母乳抽出システム。